

緑の中の IT会議2015 「SAP®ユーザー・サミット」

2015年5月29日(金)・30日(土)開催!

会場:ヤマハリゾート つま恋

- 主催:株式会社ソフテス
- 後援:SAPジャパン株式会社
- イベント参加費:無料(宿泊費、食事代含む)※交通費は各社ご負担ください。
- 対象:SAPユーザー企業様、SAP導入検討中の企業様、情報システム関係者、経営層からエンドユーザまで、部門を問わず参加可。
- ※同業者様はご遠慮ください。

SAP専業のサービスベンダー『ソフテス』が毎年開催する「緑の中のIT会議 SAPユーザー・サミット」。今年は、5月29日(金)・30日(土)、静岡県掛川市のヤマハリゾートつま恋で開催される。SAPユーザー企業・導入検討中企業が参加するこのIT会議は今年で7回目。多種多様な事業分野の経営者、マネージャ、システムを運用する担当者まで、様々なユーザー同士が本音で語り合うことで、それぞれが抱える不安や課題を解消し、SAPシステム活用成果の最大化を目指している。参加経験がある2社に、「SAPユーザー・サミット」の魅力や成果をうかがった。

ユーザー同士の会話が 課題解決のカギに

大澤:SAPシステムの導入や運用、課題解決について、御社の情報システム部門の方は誰に相談し、どのように対処されていますか?

福島:社内で相談するのは難しいですね。情報システム部門は孤独ですよ。専門外の人にはなかなか話が通じないし、経営者に相談すればコスト優先になってしまいます。どうすればいいのか答えを出せず、困るケースが多いですね。

石井:確かに課題は多いですよ。S/4HANA、クラウド、モバイル、BigDataなど、技術の進歩に我々はどうに対応すればいいのか、消費税法改正のシステム変更はどうすべきか、国際会計基準はどう取り組むべきなのか。もっと細かく言えば、オペレーションマニュアルはどうしているのか、システム担当者交代のための教育、製品変更に伴うマスター変更の仕方、アーカイブのタイミングなど挙げればきりがありません。

馬場:そんな問題を解決するために情報を集めたいのですが、これも難しい。ベンダーのコンサルタントに相談すると、商売が絡むので最適かどうか疑問です。最も良い方法は、利害関係がなく、理解し合えるSAPユーザー同士

で話し合うことだと思います。

大澤:ソフテスでは、ユーザー同士のフリートークをメインとした「緑の中のIT会議 SAPユーザー・サミット」を開催しておりますが、お役に立っていますか?

馬場:「ユーザー・サミット」という名前の通り、コンサルタント主導ではなく、SAPユーザー同士でフリートークできるのがいいですね。愚痴が出ることもありますが、ユーザーの本音を聞くことができて、とても有意義なサミットだと思います。

石井:弊社は、SAPシステムを導入してから10年以上経っているので、最近導入した方の話を聞けるのはとてもありがたいですね。最新のモジュール、最新のバージョンがどのようにになっていて、我が社でバージョンアップしたらどうなるのか、事前にシミュレーションできますから。

福島:SAPシステムは、運用していくいろいろな課題に直面します。その対応策を素直に理解しているユーザーに直接聞けるのがいいですね。話してみると、具体的な違いこそあれ、みなさん、似たようなことで困っているようです。

馬場:SAPシステムは、細かいパラメータの違いはあっても、その会社専用のシステムではないので、実際に運用しているユーザー同士だ

と、より具体的な意見交換ができます。

石井:このサミットには、未導入企業の方も参加されますよね。私たちもそうでしたが、導入前はSAPシステムそのものについても、SAPパートナーの良し悪しについても、全くわかりませんでした。新規導入は本当に大変です。

導入を検討する際には、さまざまな会社の事例を見て、聞いて、自分の会社にはどのようなやり方が合っているのか、いろいろな角度から情報を集めた方がいい。ユーザーの生の声というものは参考になるので、「SAPユーザー・サミット」は判断材料を集めるのに一番だと思いますよ。導入後の成果も、もちろん聞けます。弊社の場合は、製品のトレーサビリティが一つの画面ですべて可能になりました。その製品がいつ、どこで、誰が、どの原料を配合し、どのような過程で作られたのか、ロット番号を入力するだけで追跡できます。

馬場:弊社では、情報システム部門の役割が確実に変わってきます。スクラッチ開発した従来のシステムでは、ユーザリクエストに基づくプログラミングで多忙をきわめました。でもSAPシステムを導入してからはシステムを活用した業務改革を、ユーザーと共に推進しています。今後は経営企画同様の視点を持ち、経営に貢献することが目標です。

SAPシステム活用成果の
最大化を目指すユーザコミュニティ

参加ご希望の方は以下よりお申し込みください。

SAPユーザー・サミット

検索



softes

株式会社 ソフテス
総務部リーダー

大澤 琴音 氏

NIKKISO

日機装 株式会社
執行役員
グローバル情報統括部部長
馬場 博 氏

'GC.'

株式会社 ジーシー データランド
次長
福島 康則 氏

代表取締役
石井 規 氏

1998年4月にSAP ERP導入プロジェクト開始、1999年9月本稼動。ビッグバン導入(FI, CO, PP, MM, SD)を短期間・低コストで実現し、日経コンピュータ主催「第4回 情報システム大賞」でグランプリを受賞した。

新たな着想、新たな出会い ユーザー同士がつながる歓び

大澤:みなさまにとって「SAPユーザー・サミット」はどのような場ですか?

馬場:有意義な情報交換の場であることは間違いないのですが、ユーザー同士の出会いの場でもあると思います。特にロケーションがいいですね。きちんとスーツを着て、ビルの会議室で議論するような堅苦しい雰囲気ではなく、「つま恋」というリゾート地で、ざっくばらんに話ができます。まさに「緑の中のIT会議」ですよ。私が初めて参加した時は、SAP社の当時の社長に直接ご挨拶することができ、大変貴重な経験をさせていただきました。気軽に参加できる上に内容が濃いので、ここ数年はなるべく若手を参加させるようにしています。ユーザー同士がつながり、コミュニケーションの輪が全国に広がっていくことを期待しています。

石井:未導入企業の方やSAPユーザー企業の

経営者からマネージャ、システムを実際に運用する担当者まで、実にいろいろな立場の方が参加されていますよね。SAPサービスベンダーがいないから、商売絡みの話はなく、身構えずに話せます。業界業種も限られていないので、話の幅が広って面白いですよ。

福島:システムの導入やソリューションに特化したセミナーはよくありますが、そういう制限をしないセミナーは珍しいですね。ユーザー同士のフリーディスカッション、食事会、懇親会と徐々に緊張が解けて、和やかな雰囲気のなか、活発に意見交換ができます。毎年参加されている企業でも、メンバーの顔ぶれが違うこともありますから、いろいろな方と出会えますよ。ソフテスさんのコンサルタントが適切なアドバイスもしてくれるので、次回も参加したいというリピーターが多いんです。

馬場:「SAPユーザー・サミット」が終わった後も、そこで出会ったユーザー同士でつながっていくのがこのサミットの魅力だと思います。

す。実際、知り合った方の会社へ訪問させていただいたこともあります。2日間ではとても時間が足りないので、サミット後もコミュニケーションを継続することで、情報交換していきたいですね。

大澤:SAPファンをもっと増やして、より有意義なサミットへ熟成させていきたいと思います。このサミットを通して、みなさまがSAP ERPをより有効に活用していくことを願っています。本日はありがとうございました。

Ad

[お申し込み・お問い合わせ]
株式会社ソフテス

<http://www.softes.co.jp/>

本社 / 〒430-0944
静岡県浜松市中区田町330-5 遠鉄田町ビル4F
TEL / 053-450-3188 FAX / 053-450-3190

